

各 位

会 社 名 関東電化工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 富田 芳男  
(コード番号 4047 東証第 1 部)  
問合せ先 人事総務部専任部長 浦本邦彦  
(TEL . 03 - 3216 - 4561 )

## 個別業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 17 年 8 月 12 日の第 1 四半期業績発表時に公表した平成 18 年 3 月期(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

### 記

- 1 . 平成 18 年 3 月期中間個別業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 17 年 9 月 30 日)  
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	15,000	450	2,900
今 回 修 正 予 想 ( B )	14,900	890	2,240
増 減 額 ( B - A )	100	440	660
増 減 率 ( % )	0.7	97.8	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月中間期)	14,955	1,309	721

- 2 . 平成 18 年 3 月期通期個別業績予想数値の修正(平成 17 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 3 月 31 日)  
(単位:百万円、%)

	売 上 高	経常利益	当期純利益
前 回 発 表 予 想 ( A )	31,000	2,700	1,300
今 回 修 正 予 想 ( B )	31,000	2,900	1,200
増 減 額 ( B - A )	0	200	100
増 減 率 ( % )	-	7.4	-
(ご参考) 前期実績(平成 17 年 3 月期)	30,310	2,424	1,213

(参考) 1 株当たり予想当期純利益(通期) 21 円 41 銭

### 3. 修正の理由

当中間期の売上高につきましては、精密化学品事業部門はほぼ計画（8月12日修正後の計画。以下同じ）どおりとなるものの、基礎化学品事業部門は若干計画を下回り、全体では若干減収となる見込みです。精密化学品事業部門のなかでは、主力の三フッ化窒素はほぼ計画どおりで推移しており、電池材料の六フッ化リン酸リチウムは、電池需要の回復により計画を上回っております。

売上原価ならびに販管費につきましては、コストダウンの効果および減価償却費の減少等により計画を下回る見込みです。また、営業外収支についても、試作品販売収益等が計画を上回る見込みです。

渋川工場ソーダ電解事業撤退に伴う除却損は計画どおり計上いたしますが、一部有税で償却するため、当中間期において新たに税効果が発生し、当期純利益を増加させる見込みです（ただし、通期での影響はありません）。

通期につきましては、今後、半導体・液晶需要が回復しフッ素系ガスの需要増に繋がると予想しておりますが、競争激化による販売価格低下と原燃料価格の高止まりが予想されることから、売上高は310億円（前回公表数値どおり）、経常利益は29億円（前回公表数値に対して2億円増）、当期純利益は12億円（同1億円増）と予想しております。

なお、連結ベースの業績予想については、中間決算発表時に公表する予定です。

以 上